

平成26年度 運営会議

目 次

I	平成25年度決算及び平成26年度予算	1
II	課題と取り組み	
	第三者委員会最終報告書の提言に基づく会社の取り組み	8
III	報告事項	
1	構造物の維持管理の取り組み	12
2	事故・渋滞対策の取り組み	16
3	お客様サービスの推進	25
4	アイランドシティへの自動車専用道路	27



平成26年5月27日
福岡北九州高速道路公社

(1) 平成25年度決算

① 事業実施概要

安全で快適な都市高速を利用していただけるよう、営業中区間（福岡高速56.8Km、北九州高速49.5Km）の適正な維持管理、お客様サービスの向上を図り、一層の利用促進に取り組んだ。

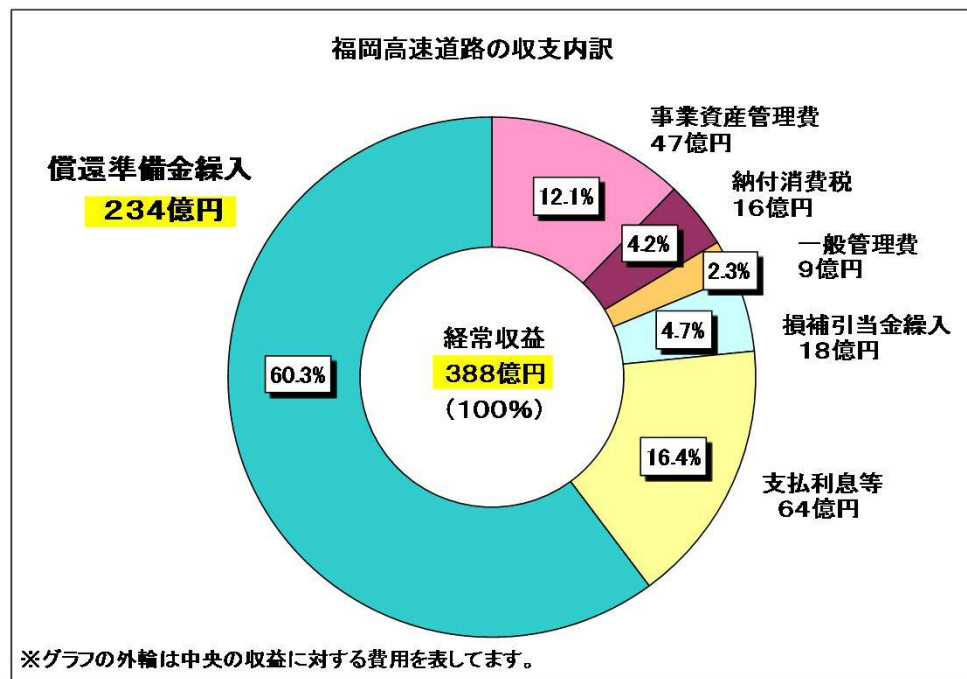
② 損益の概要

福岡高速

平成25事業年度の福岡高速道路部門の損益は、

経常収益 **388億円** に対し、経常費用 **154億円**、差引き収支差は **234億円** となり、

これを償還準備金繰入として計上します。

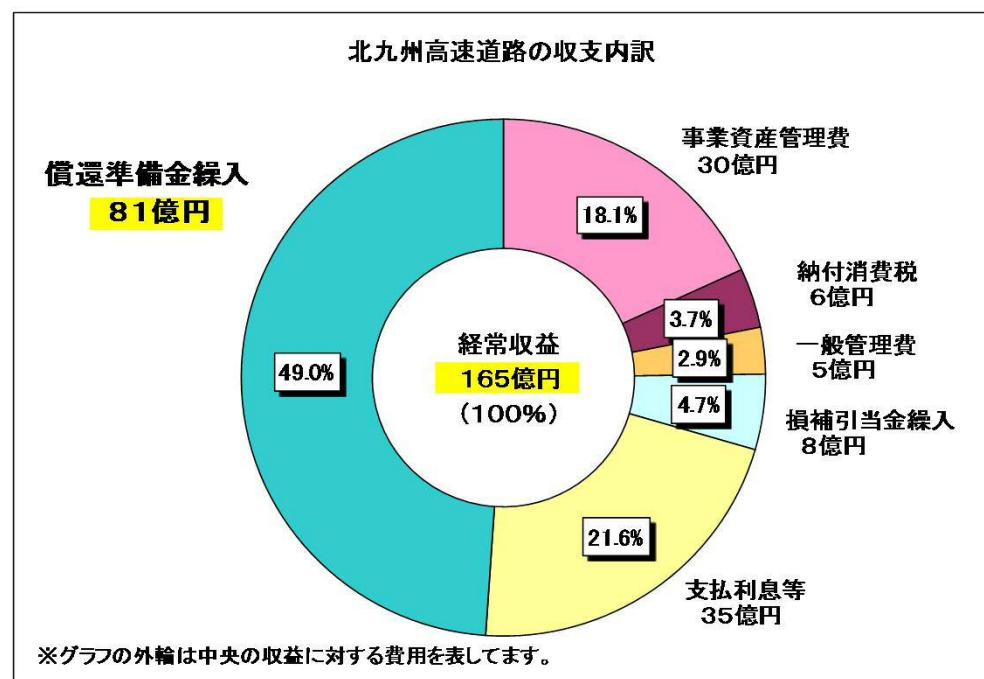


北九州高速

平成25事業年度の北九州高速道路部門の損益は、

経常収益 **165億円** に対し、経常費用 **84億円**、差引き収支差は **81億円** となり、

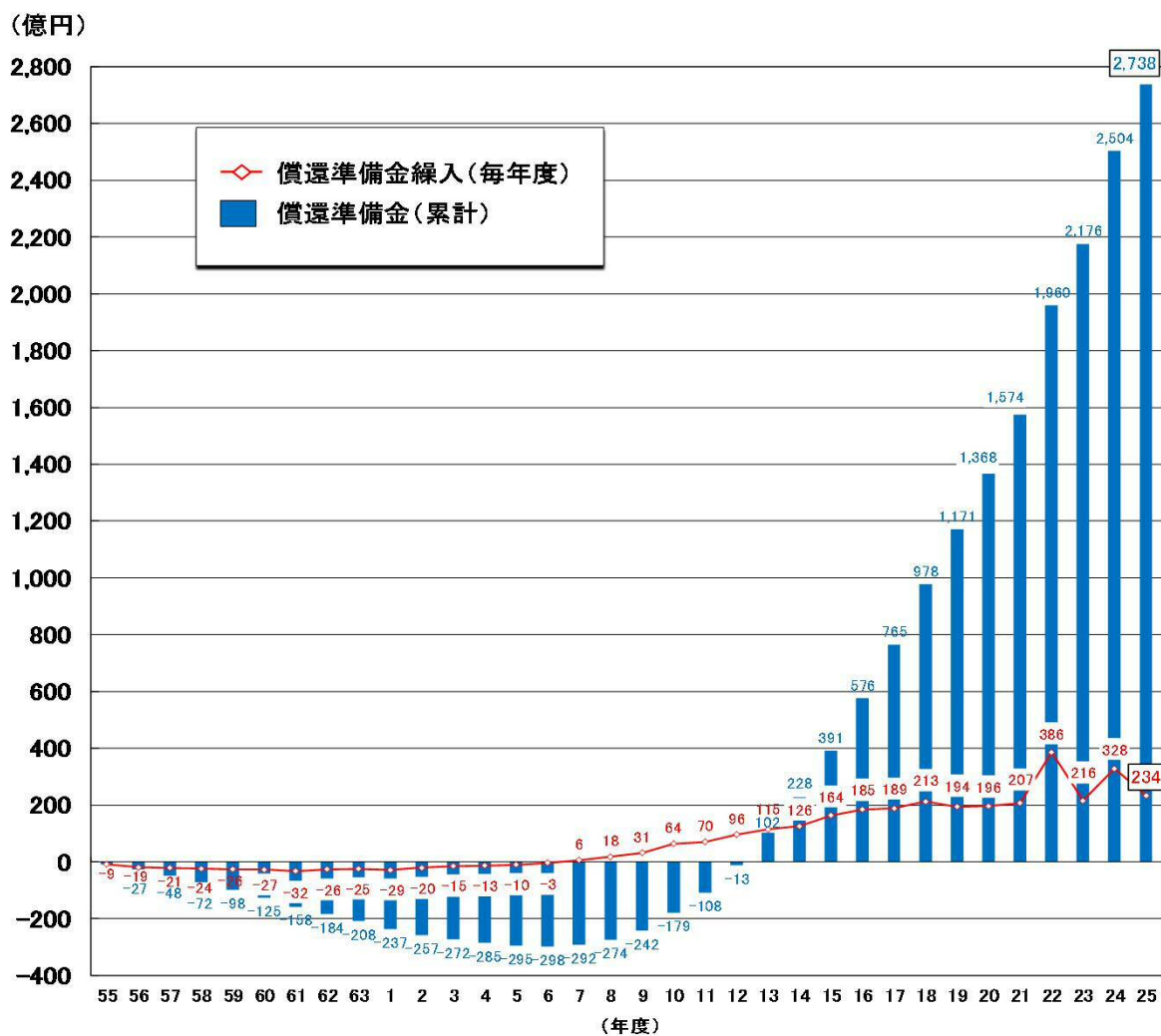
これを償還準備金繰入として計上します。



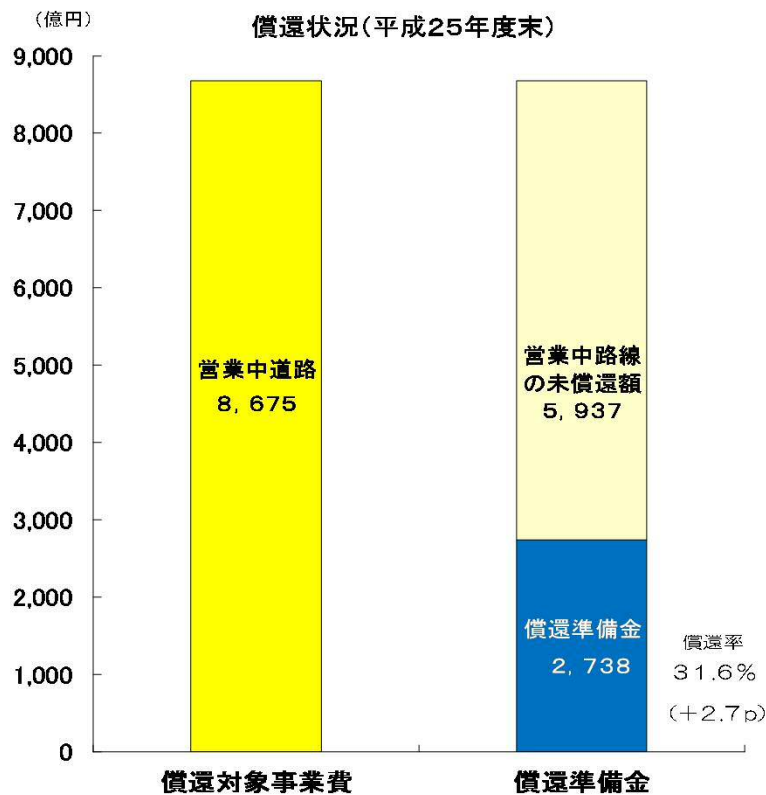
(1) 平成25年度決算

③ 償還準備金の推移と償還状況

福岡高速



貸借対照表より



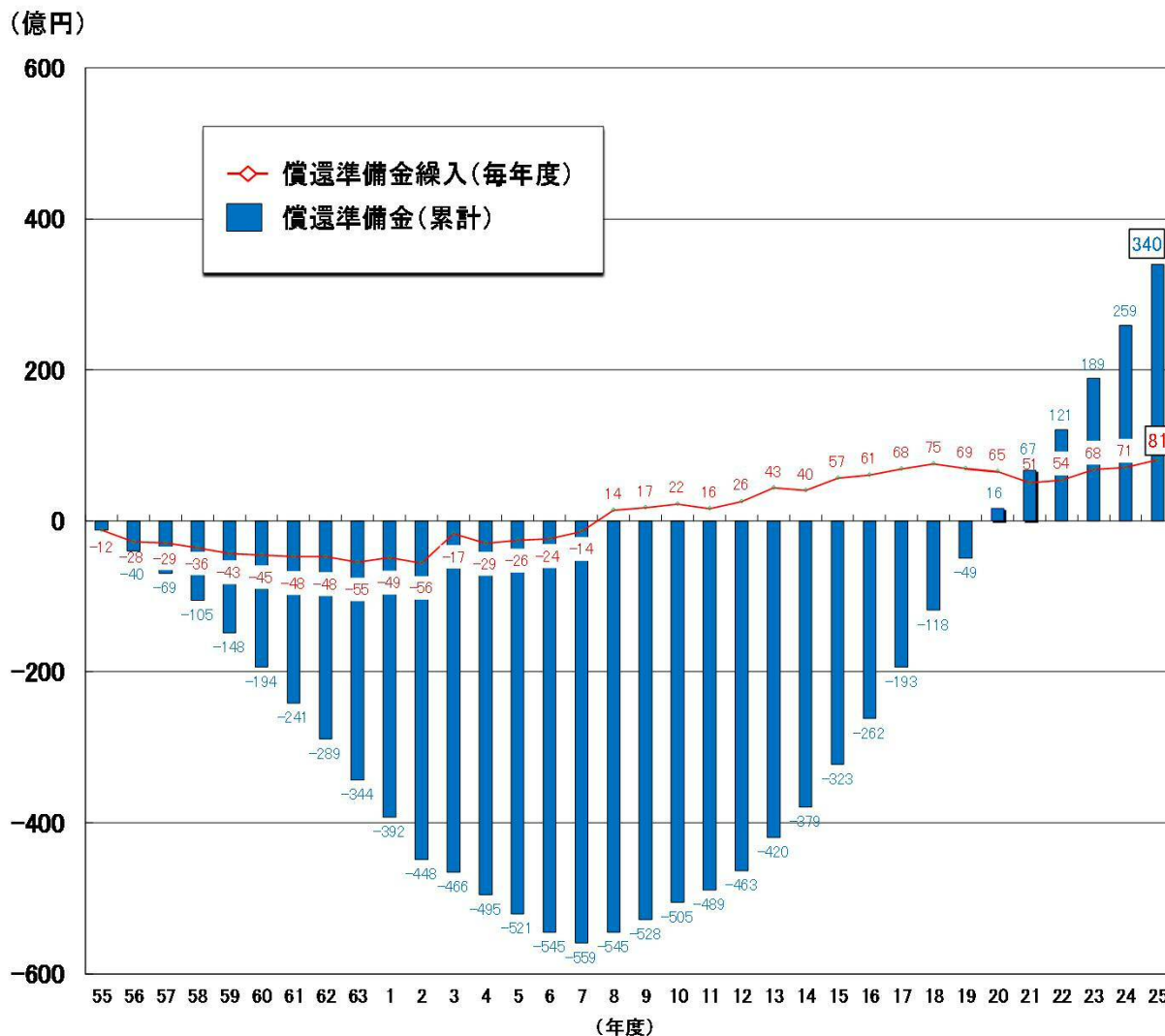
(単位: 億円)

営業中道路の 資産総額 A	資産見返 交付金 B	営業中道路 (償還対象額) C=(A-B)	償還準備金 D	未償還残高 E=(C-D)
8,698	23	8,675	2,738	5,937

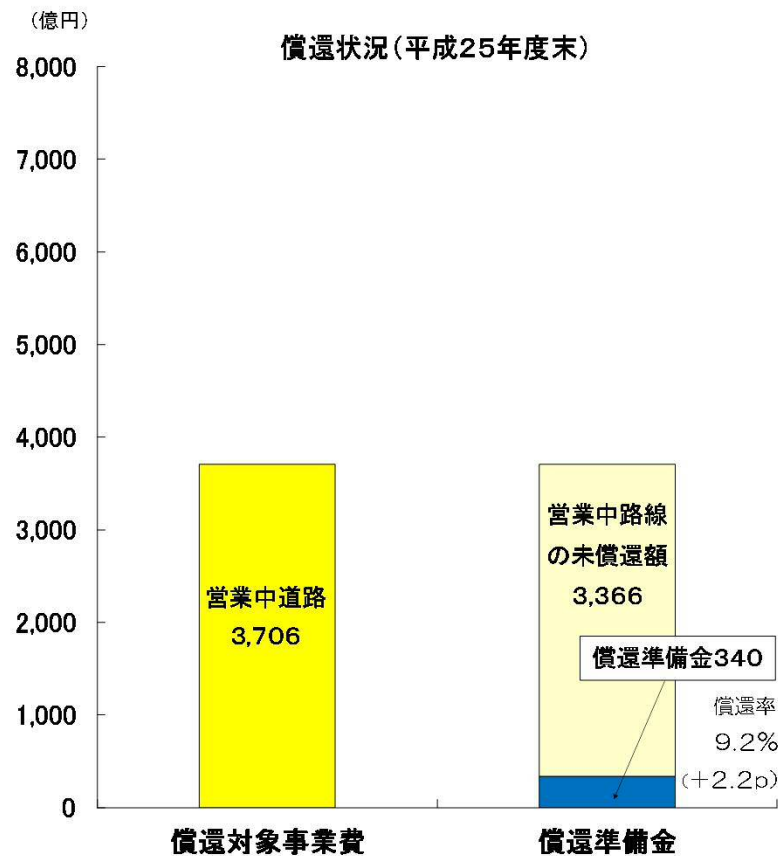
(1) 平成25年度決算

③ 償還準備金の推移と償還状況

北九州高速



貸借対照表より



(単位:億円)

営業中道路の資産総額	資産見返交付金	営業中道路(償還対象額)	償還準備金	未償還残高
A	B	C=(A-B)	D	E=(C-D)
3,752	46	3,706	340	3,366

(2) 平成26年度予算

① 事業実施計画

- ・ 営業中道路（福岡高速56.8km、北九州高速49.5km）の適正な維持管理に務め、「安全で快適な都市高速」を目指す。
- ・ お客様サービスの向上を図り、交通量拡大とともに増収を目指す。

② 収入支出予算

(単位:億円)

事業区分	収 入			支 出				
	項 目	福岡高速	北九州高速	計	項 目	福岡高速	北九州高速	計
管理業務	高速道路料金収入	402	166	568	維持改良費	74	17	91
	駐車場料金収入	1	1	2	業務管理費	53	31	83
	民間借入金	304	174	477	(内 納付消費税)	(28)	(12)	(40)
	業務外収入	1	1	2	一般管理費	12	7	19
					業務外支出	569	287	856
					(内 元金償還金)	(513)	(253)	(766)
					(内 支払利息等)	(55)	(34)	(90)
	小 計	708	341	1049	小 計	708	341	1049
その他	受託業務収入等	2	2	4	受託業務費等	2	2	4
合計		710	343	1053		710	343	1053

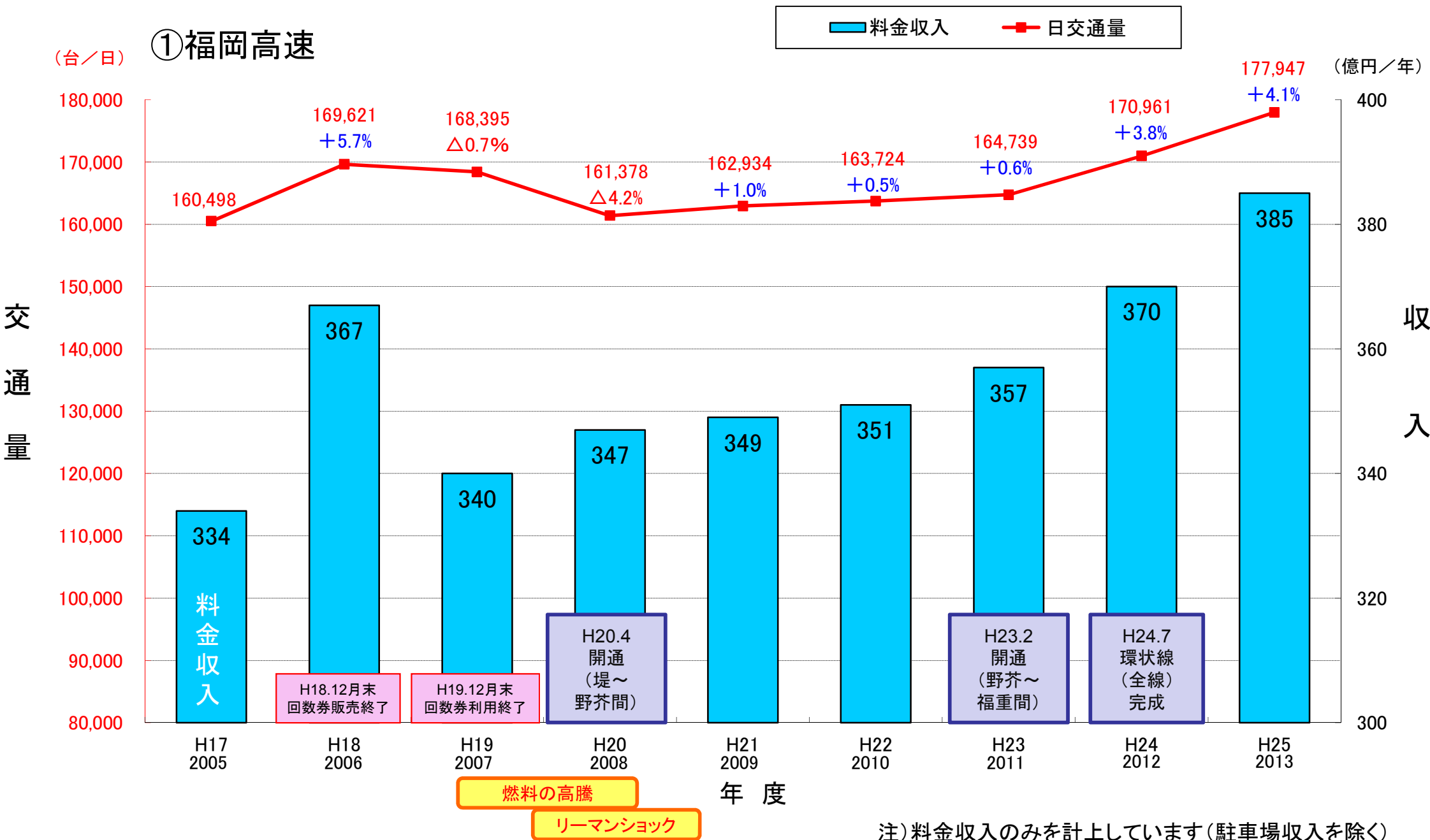
※表中 の着色部分は、営業に係る予算を示しています。

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

損益上の収支差 (単位:億円)

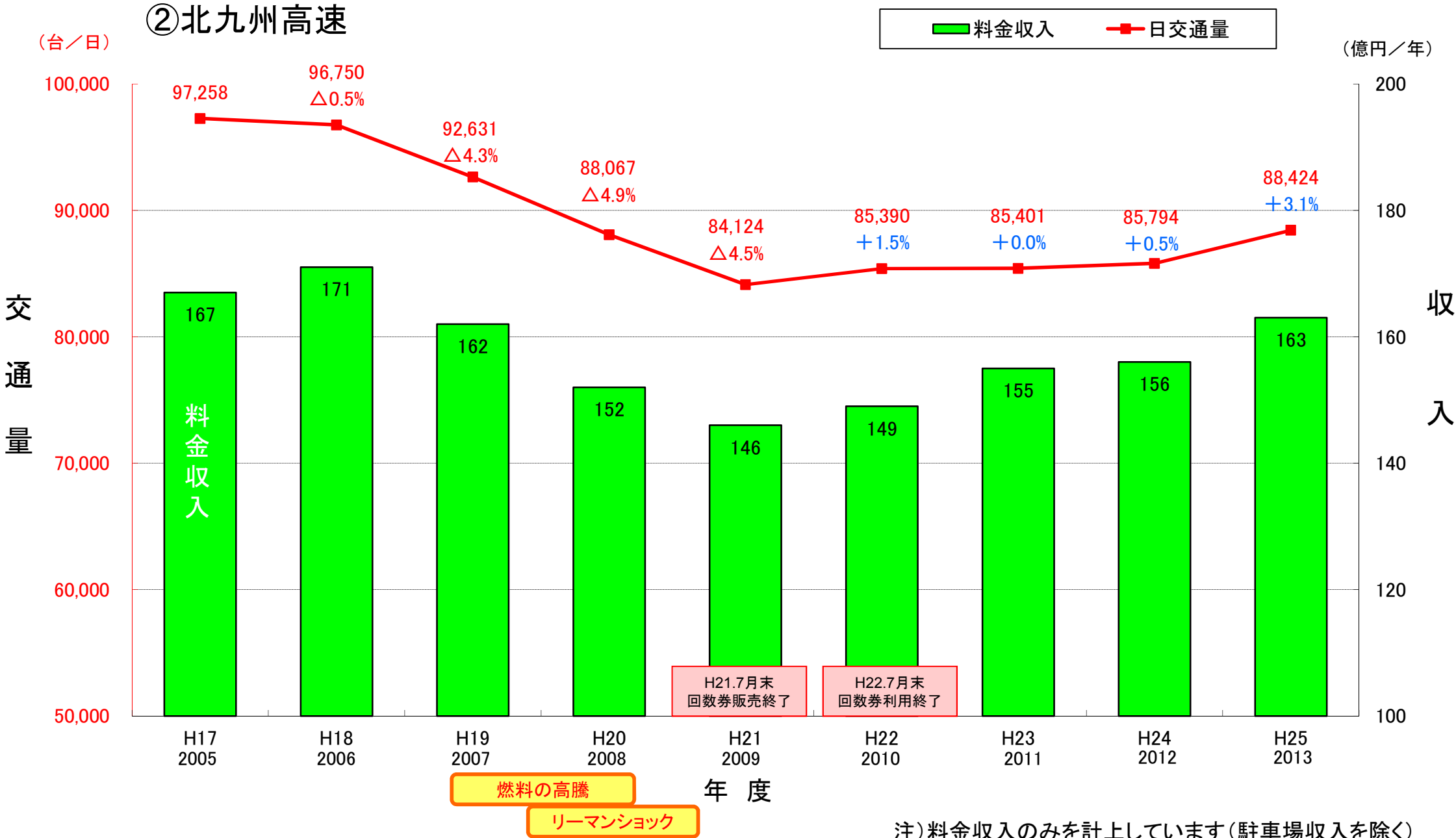
	福岡高速	北九州高速
償還準備金繰入(予定)	204	73

(3) 交通量と収入の推移



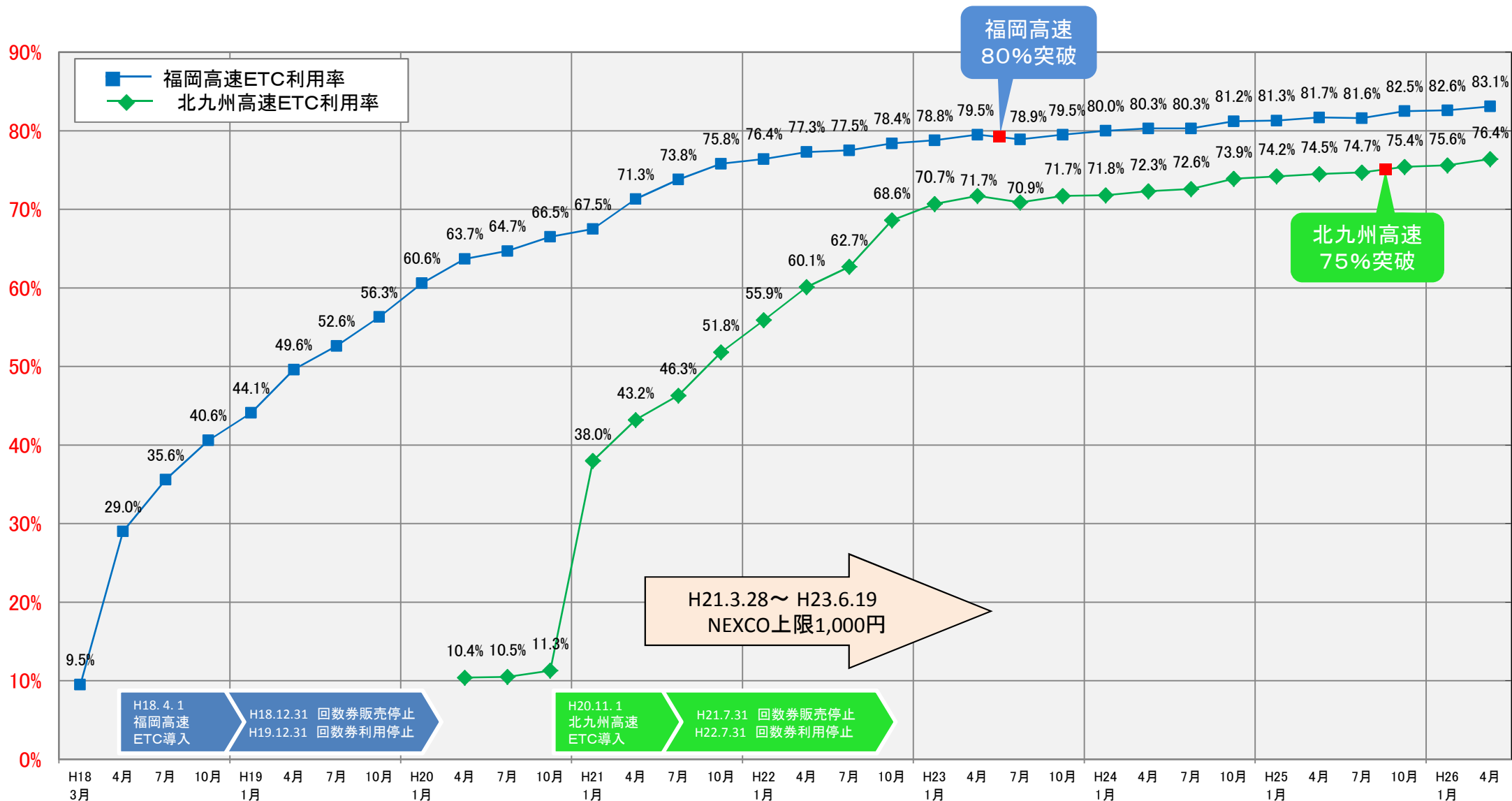
(3) 交通量と収入の推移

②北九州高速



(4) ETC利用率の推移

- ETC導入(福岡:平成18年、北九州:平成20年)以降、着実に利用率は伸びている。
- 福岡高速では、平成23年6月に利用率80%を突破(80.0%)
- 北九州高速では、平成25年9月に利用率75%を突破(75.4%)



Ⅱ 課題と取り組み

(1) 飲酒事案の概要

平成25年7月に料金収受会社の社員による勤務時間中の飲酒事案が発生し、同年9月に新聞報道されたことを契機に、公社と収受会社の対応の甘さや、公社の内部統制の不備といった問題から、公社は厳しい社会的非難を受けることとなった。

このような事態を受けて、公社は「お客様の信頼向上に向けた第三者委員会」を同年10月に設置した。

また、飲酒事案が発生した北九州高速道路の紫川ブロックについては、同年11月30日をもって、当該料金収受会社との委託契約を解除し、新たな料金収受会社と契約を締結した。

(2) 第三者委員会の設置

① 委員構成(敬称略)

委員長	砂田 太士	(福岡大学法学部教授 法学部長)
委員	熊谷 雅之	(医療法人優なぎ会雁の巣病院 院長)
	納富 昌子	(RKB毎日放送株式会社 役員待遇)
	船木 誠一郎	(けやき通り法律事務所 弁護士)
	山本 美也子	(NPO法人 はあとスペース代表)

② 委員会への付託事項

- i 事実関係の調査、公社及び受託会社双方の対応等の検証
- ii 公社のコンプライアンス及び内部統制に不備があったため、そのあり方の検証
- iii 前2号を受けて、お客様の信頼向上に向けた取り組みについて提言

③ 開催実績

平成25年10月から平成26年3月までの間に、計6回開催(各月1回開催)

(3) 第三者委員会最終報告書の提言(平成26年3月26日)

① 飲酒事案の再発防止策

- i 受託会社は、社員教育を徹底し、飲酒に関して世間一般以上に高い意識を持つこと。
- ii 受託会社は、勤務中の対策として、料金收受業務の職場でのアルコール検査を厳格に行うこと。
- iii 受託会社は、通勤時の対策として、自動車通勤の社員に個人用アルコール検知器携帯を働きかけること。
- iv 受託会社と公社は、料金收受現場の実態を的確に把握すること。
- v 公社は、入札業者の選定方法として、飲酒対策の実施状況も含めて評価する方式を検討すること。
- vi 公社は、委託契約の中で研修や検査等の必要事項を定め、受託会社の履行を的確に確認すること。
- vii 公社は、飲酒運転撲滅活動に積極的に参加すること。

② 公社の内部統制のあり方

- i 公社は、内部統制がきちんと機能するよう、その体系的な整備に関する基本方針を策定すること。
- ii 基本方針に基づき整備する規程等が適切に運用されるよう、職員の研修・教育を充実すること。

③ その他関連意見

公社は、現在25時間勤務である受託会社社員の勤務形態について、多角的に検討すること。

④ 提言後の取り組み状況についての検証

提言を踏まえた取り組み状況については、公社外部の意見を聞きながら検証することが望ましい。

(4) 設立団体の監督命令

平成26年4月4日、各設立団体から、公社が厳しい社会的な非難を受けるに至ったことは、誠に遺憾であり、今後かかることのないよう嚴重注意を受けた。

(5) 第三者委員会の提言に基づく公社の取り組み

平成26年4月4日に「第三者委員会最終報告書に基づく取り組み方針」を公表

取り組み方針は、最終報告書の提言、また同委員会の審議過程で示された意見を踏まえ、すでに実施中のものも含め、具体的な取り組み方針を策定

飲酒事案の再発防止策

実施時期

① 受託会社の社員教育の徹底

- ・医療関係者や県警による飲酒に特化した研修の実施(年複数回)

H25年9月
から実施中

② 料金收受業務の職場でのアルコール検査の厳格化

- ・出勤時、勤務中の運転時、退勤時において検査(呼気アルコール濃度0.00mg/Lの確認)

H25年11月
から実施中

③ 受託会社に対し、自動車通勤する社員への個人用アルコール検知器携帯の要請

- ・出勤前の自宅での検査により、通勤時の飲酒運転を未然に防止

H26年3月
に対応完了

④ 受託会社本社及び公社による料金收受現場の実態把握

- ・四半期ごとに公社、受託会社本社、料金精算事務所の三者による会議開催

H26年5月
から実施中

⑤ 入札業者の選定方法として、飲酒対策の実施状況も含めて評価

- ・次期契約更新時において金額面だけでなく、飲酒対策の取り組み等を含めて総合評価する方式を検討

検討中

⑥ 委託契約において義務付ける検査や研修、報告事項の強化

検討中

⑦ 公社の飲酒運転撲滅運動への積極的な参加

- ・飲酒運転撲滅キャンペーン等への積極的な参加
- ・飲酒運転防止に関する講演会の開催(H26年8月予定)

H26年5月
から実施中

(5) 第三者委員会の提言に基づく公社の取り組み

公社の内部統制のあり方	実施時期
<p>内部統制の基本方針の策定 以下の項目から構成される基本方針を策定し、内部統制の体制を体系的に整備</p>	H26年4月策定済
<p>①基本原則(行動憲章) ・公社組織に求められる基本的な認識や姿勢を明記</p>	
<p>②遵守すべきルールの体系的な整備(行動規範) ・誤った判断や行動により、不祥事や不正事案を招くことのないよう役職員に浸透させておくべき統一的なルールを整備(交通法規の遵守、利害関係者との禁止行為、リスク管理など)</p>	基本方針に基づき必要な規程等を順次整備
<p>③コンプライアンス体制の整備 ・コンプライアンス統括窓口の設置 ・内部通報制度の導入</p>	H26年4月設置済 H26年4月導入済
<p>コンプライアンスに関する研修・教育の充実 共通研修、階層別研修、テーマ別研修の実施</p>	H26年5月から実施予定
その他関連意見	
<p>勤務形態について、交替制勤務の試験的導入を検討</p>	検討中
提言の取り組み状況についての検証	
<p>公社内部に「取り組み方針進捗管理会議」を設置し、毎月の進捗状況を管理</p>	H26年4月設置済
<p>取り組み状況を客観的に検証するため、外部の有識者で構成する検証委員会を設置予定</p>	H26年10月開催予定

III 報告事項

(1) 老朽化対策の関心の高まり

平成24年12月2日に中央自動車道笹子トンネルで発生した天井板落下事故は、高速道路の老朽化問題に対して警鐘を鳴らすものとなった。これを契機に、社会インフラの老朽化対策に対する社会の関心が高まった。

(2) 福岡高速の取り組み状況

H23. 12. 24 制度の創設 「福岡都市高速道路の老朽化・予防保全対策に対する償還期間の延長」

H24. 7. 10 料金認可 「老朽化・予防保全対策として約630億円の追加投資」 (H24~H43の20年間)
「償還期間を40年から47年に延長」

H25年度から「老朽化・予防保全対策」を本格実施

(3) 北九州高速の取り組み状況

H14. 12. 20 制度の創設 「北九州高速道路の大規模補修に対する公的助成の拡充」
「償還期間を40年から50年に延長」

H16. 3. 22 第10回整備計画変更

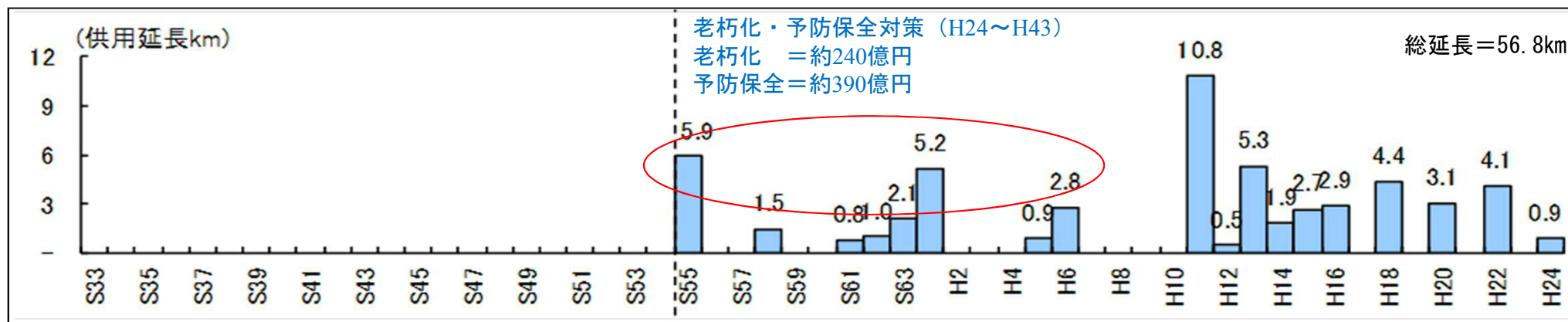
H15~H20 大規模補修事業 約245億円 「北九州高速4号線の橋梁、トンネル、付属物の老朽化対策」

H20. 10. 24 料金認可 「ETC整備事業及び北九州高速4号線の大規模補修事業の完了」

(4) 維持管理方針「安心のための維持管理」

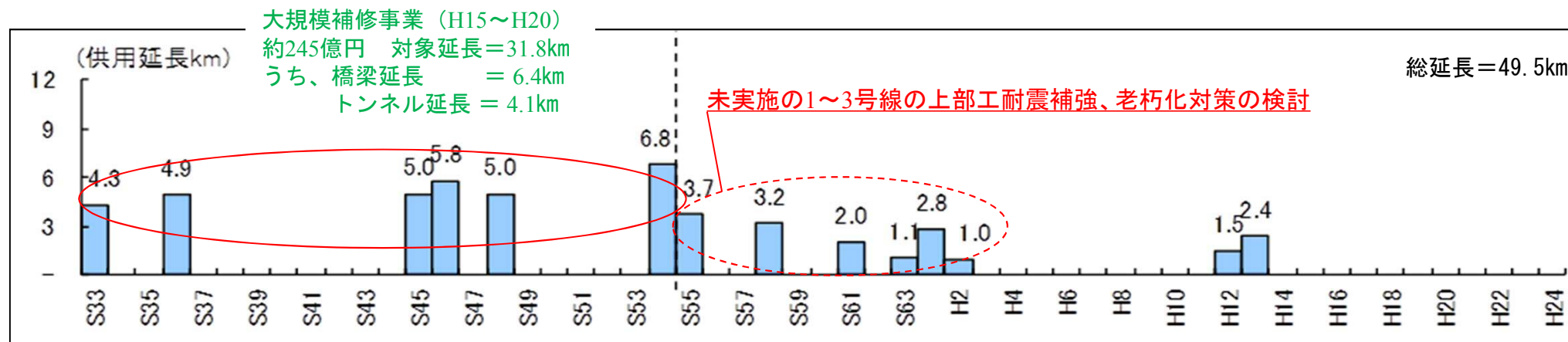
合理的な維持管理で老朽化・予防保全対策を実施して、道路構造物の長寿命化に取り組む。

- 福岡高速
H24～H43年度に老朽化・予防保全対策を実施する。



< 供用延長の推移 H26.4現在 >

- 北九州高速
H15～H20年度に4号線は大規模補修事業を実施した。



< 供用延長の推移 H26.4現在 >

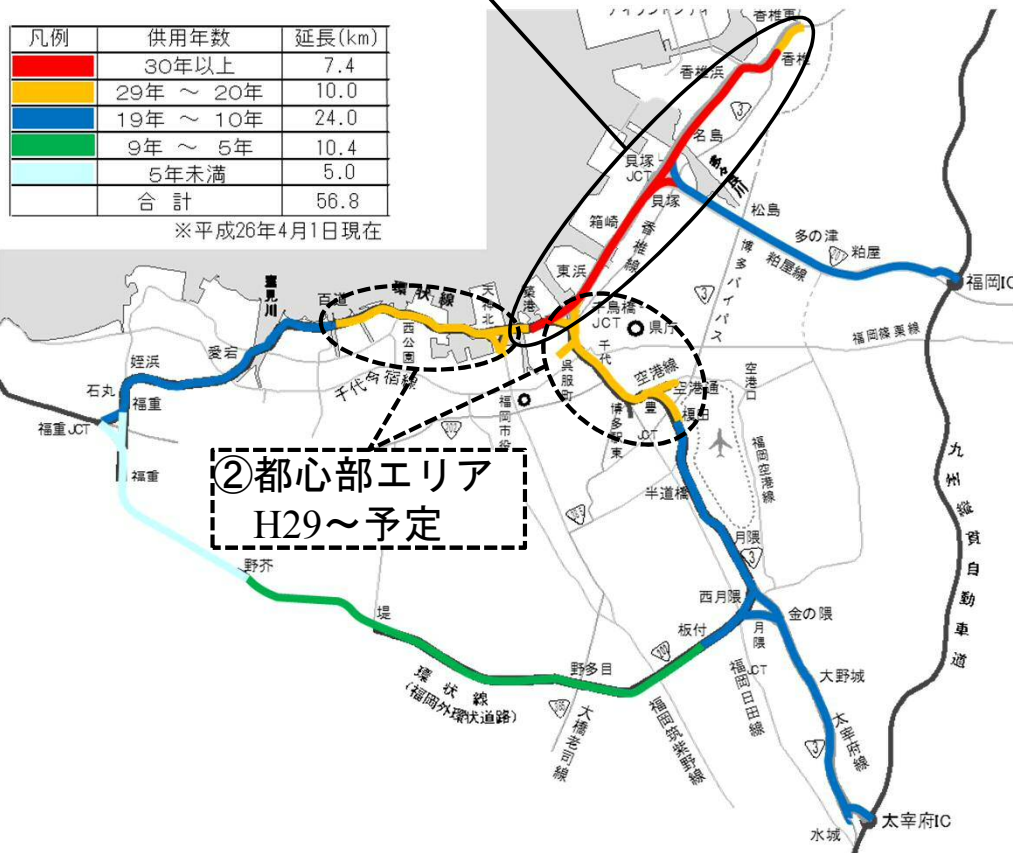
(5) 福岡高速の維持管理

- ・ 香椎線：コンクリート橋脚補修工、コンクリート床版補修工、鋼構造物の塗装工

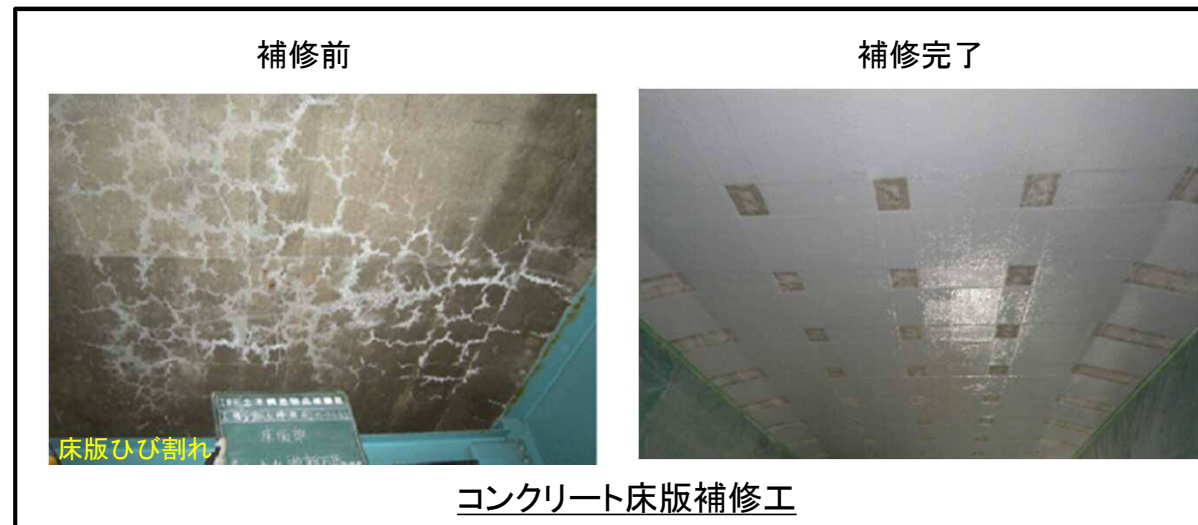
①香椎～築港エリア
H25～H30予定

凡例	供用年数	延長(km)
	30年以上	7.4
	29年～20年	10.0
	19年～10年	24.0
	9年～5年	10.4
	5年未満	5.0
	合計	56.8

※平成26年4月1日現在



②都心部エリア
H29～予定

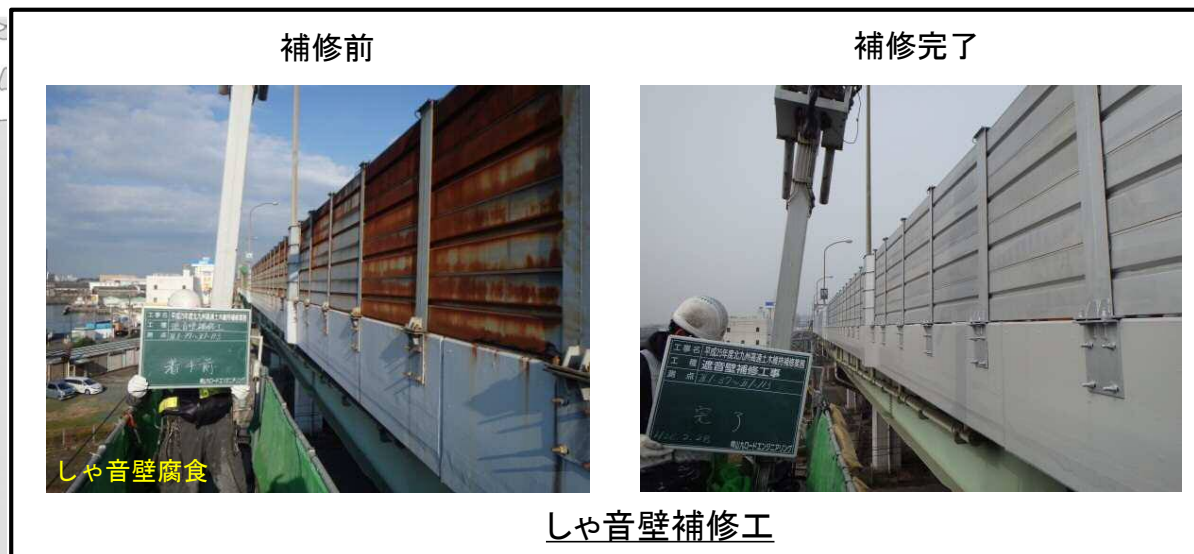
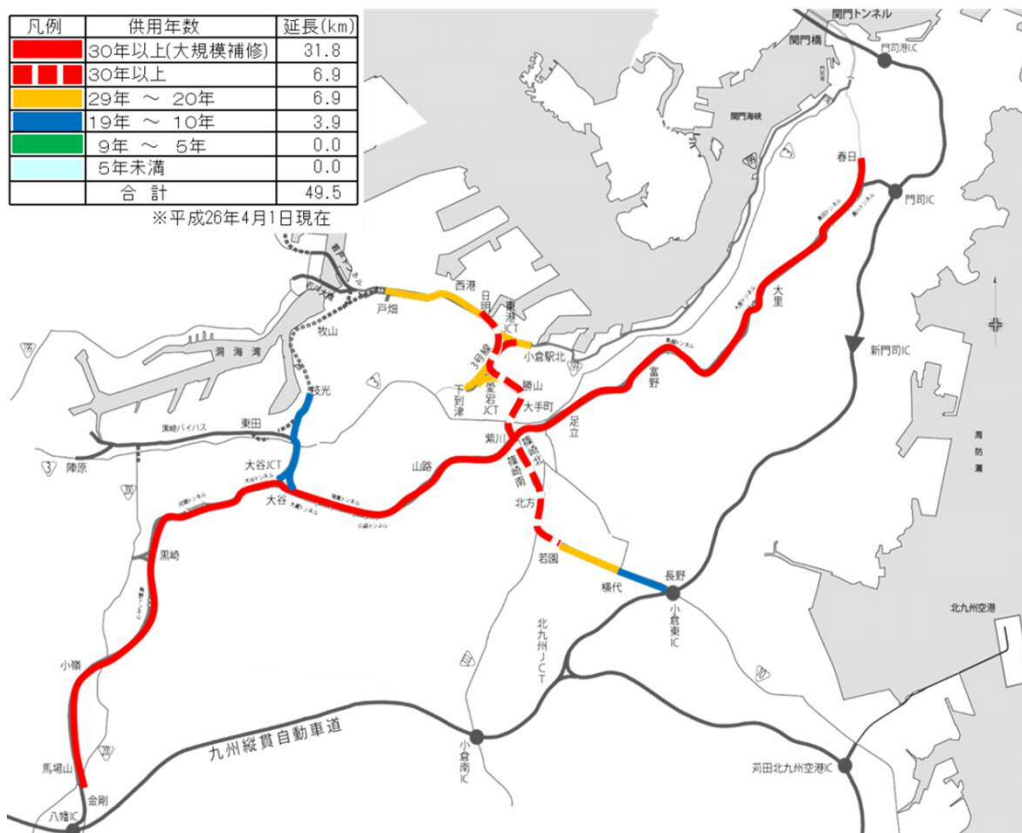


(6) 北九州高速の維持管理

- ・ 1～3号線：しゃ音壁補修工，ガードレール補修工
- ・ 4号線：コンクリート橋脚補修工

凡例	供用年数	延長(km)
■	30年以上(大規模補修)	31.8
■	30年以上	6.9
■	29年～20年	6.9
■	19年～10年	3.9
■	9年～5年	0.0
■	5年未満	0.0
	合計	49.5

※平成26年4月1日現在



(1) 事故率と渋滞件数の推移

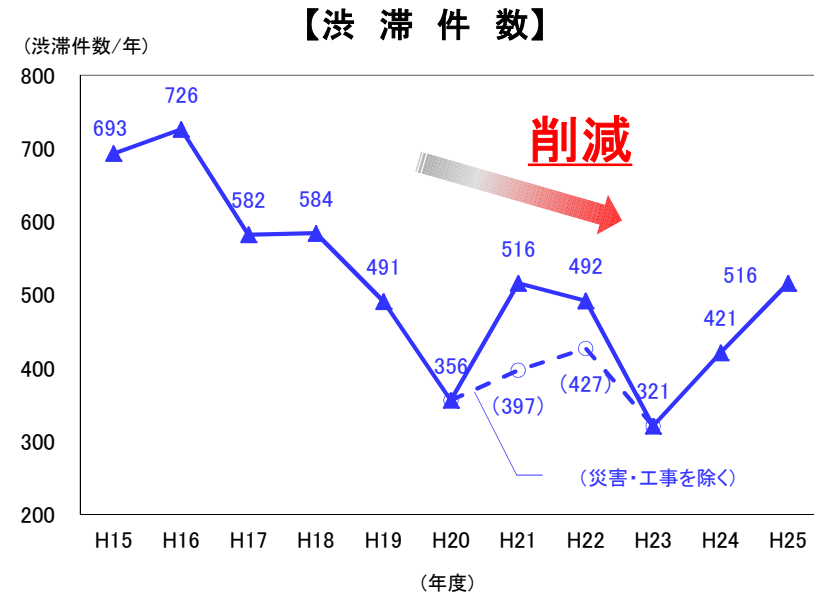
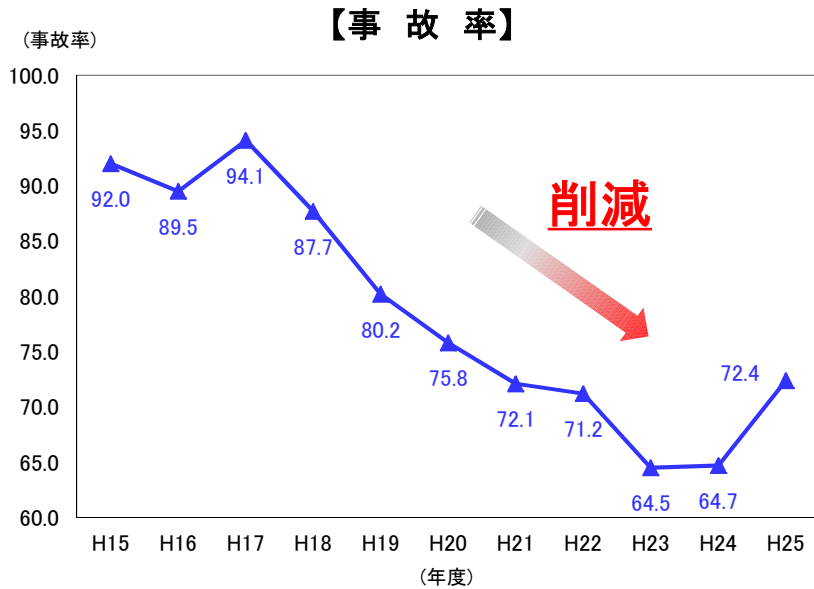
平成15年度から10年間の事故・渋滞対策を図ってきた結果
事故率・渋滞件数は着実に削減。

実績値

平成15年度→平成25年度(10年間)

【事故率】
21%削減

【渋滞件数】
26%削減



※事故率：億台キロあたりの事故件数/年
渋滞：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合

※ () は、下記の影響を除いたもの
H21：九州道土砂災害の影響 (7/26~8/12)
H22：九州道向佐野橋大規模リフレッシュ工事の影響 (9/1~11/21)

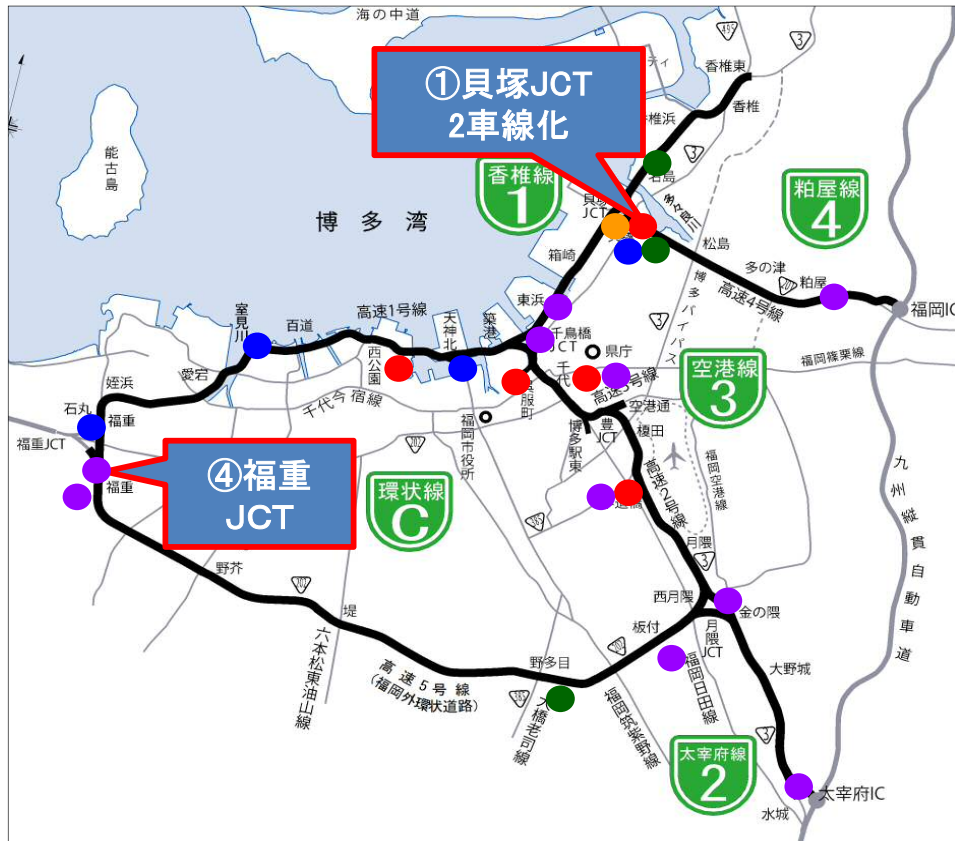
(2) 過去の主な事故・渋滞対策の取り組み事例

対策種別	具体的な対策例		福岡高速	北九州高速
● 渋滞対策	車線数の増加 (2車線化)	本線	貝塚JCT	紫川JCT
		出口	西公園, 呉服町, 千代, 半道橋	大手町, 日明
● スリップ事故対策	グルーピング, 矢印板波 板反射板の設置 (カーブ区間)	本線	百道, 福重, 貝塚JCT	黒崎, 勝山, 枝光, 愛宕JCT 紫川JCT
		出口	天神北	
● 速度抑制対策	減速マーキング 路面段差	本線	名島料金所手前, 貝塚JCT	愛宕JCT
		出口	野多目	黒崎
● 錯誤地点対策	カラー舗装, 標識板 との連携	本線分岐	千鳥橋JCT, 月隈JCT, 福重JCT	紫川JCT
		出口分岐	半道橋, 千代, 東浜, 粕屋, 水城 福重, 板付	黒崎
● 人身事故被害軽減 対策	改良型クッションドラムの 設置 (ショックプロテクター)	本線分岐	貝塚JCT(粕屋線下線)	
		出口分岐		大手町
● その他	HPでの走行ガイド (事故, 渋滞多発箇所・動画で案内! 都市高速・出入口の案内)			
	交通状況改善検討委員会の開催(平成25年度)			

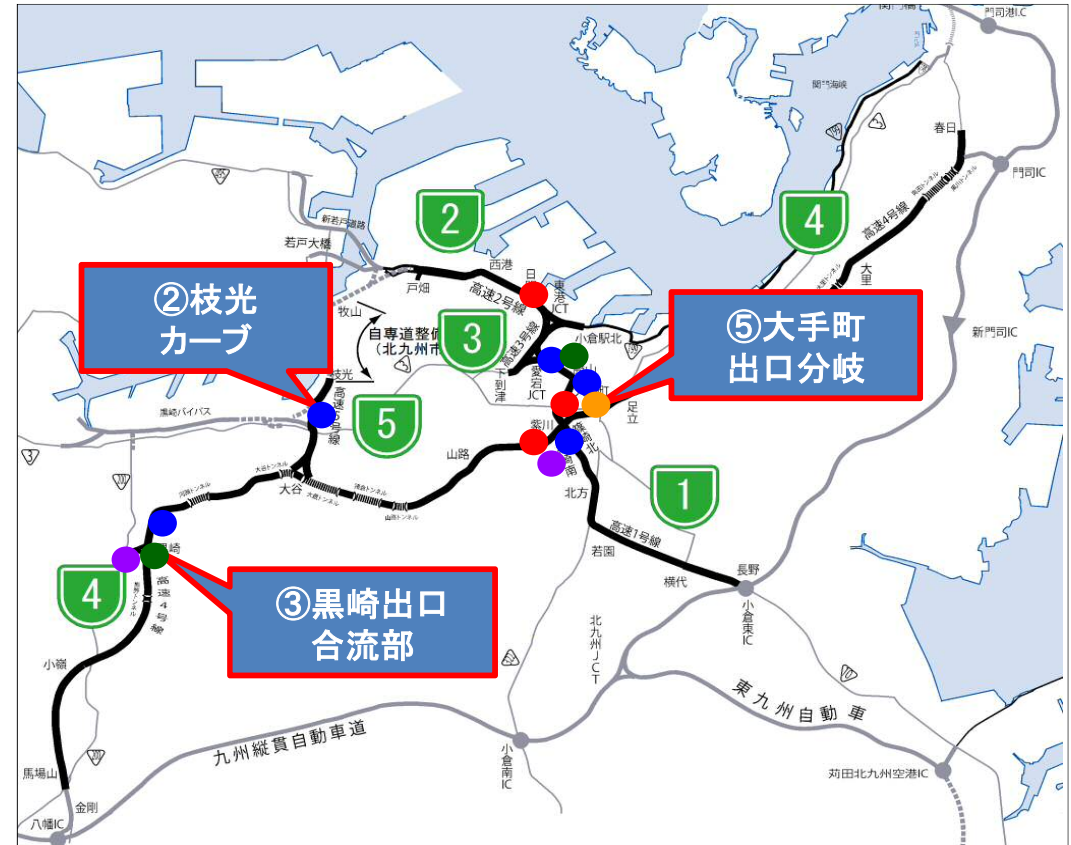
(2) 過去の主な事故・渋滞対策の取り組み事例

■主な対策取り組み事例の位置図

■福岡高速道路



■北九州高速道路



- …渋滞対策
- …速度抑制対策
- …スリップ事故対策
- …錯誤地点対策

- …人身事故被害軽減対策

(2) 過去の主な事故・渋滞対策の取り組み事例

■対策事例 ①貝塚JCT2車線化(福岡高速)

渋滞対策

H24.2.29実施

【対策内容】

- ①既存1車線から2車線に変更
⇒ 交通容量の増加



■対策事例 ②枝光カーブ(北九州高速)

スリップ事故対策

H25.9.11実施

【対策内容】

- ①舗装面にグルーピング施工実施
⇒ グリップ力向上
- ②減速マーキングの設置
⇒ 急カーブ減速注意喚起



* グルーピング：路面に浅い溝を複数均等に切ること、雨天時の水はけを良くし路面とタイヤのグリップ力を最大限に高めることが期待できます。
減速マーキング：マーキングの設置間隔に変化を持たせ、運転者に通常よりも速度が上昇したとの錯覚を起こさせることにより減速効果を高め、事故の防止を図ろうとするものです。

(2) 過去の主な事故・渋滞対策の取り組み事例

■ 対策事例 ③ 黒崎出口合流部付近(北九州高速)

速度抑制対策

H23.10.28実施

【対策内容】

- ① 路面段差設置やポストコーン設置
⇒ 注意喚起、速度抑制及び車線変更の抑止
- ② 舗装面にグレービング施工実施
⇒ グリップ力向上



■ 対策事例 ④ 福重JCT分流部付近(福岡高速)

錯誤地点対策

H24.7.21実施

【対策内容】

- ① 路面標示と標識板のカラーを統一
⇒ 行先をわかり易く案内



(2) 過去の主な事故・渋滞対策の取り組み事例

■対策事例 ⑤大手町出口分岐部付近(北九州高速)

人身事故被害軽減対策

H25.9.25実施

【対策内容】

- ① 出口分岐部のクッションドラムから
ショックプロテクターへの変更
⇒ 人身事故被害軽減



■対策事例 ⑥ホームページでの走行ガイドおよび交通状況改善検討委員会の開催(H25)

その他対策

◆走行ガイド

安全で快適な走行のため、わかりやすい道路情報をホームページでお知らせしています。

事故発生箇所

区間	発生箇所	発生回数	発生時刻
① 大野原(相模原)	大野原方面	31	●07:55が少方時間(10時~)
② 大野原~月間	大野原方面	20	●07:55が少方の通勤時間(7時~)
③ 大野原~月間	大野原方面	18	●07:55が少方時間(10時~)

渋滞発生箇所

動画で案内！ 都市高速

事故及び渋滞対策の取り組み
アクションプログラム 2012

福岡高速 (福岡/CT) 北九州高速 (北九州/CT)

アクションプログラムとは、安全・安心かつ円滑な道路交通を確保し、お客様サービスの改善・向上を図るために事故・渋滞対策について策定している行動計画です。

◆さらなる安全対策推進のために学識経験者を交え交通状況改善検討委員会を開催



(3) 今後の取組み(交通状況改善検討委員会での提案)

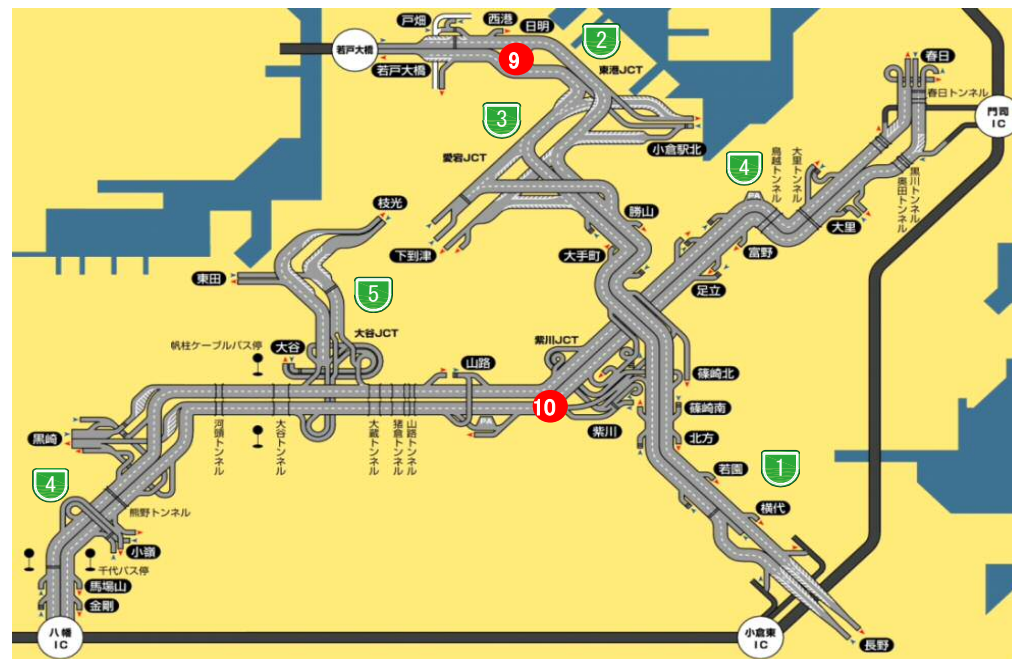
事故・渋滞が多い箇所、利用者へのサービス改善が必要な箇所などの観点から、検討箇所（10箇所）を選定。

◆検討箇所（10箇所）の位置図

【福岡高速道路】



【北九州高速道路】



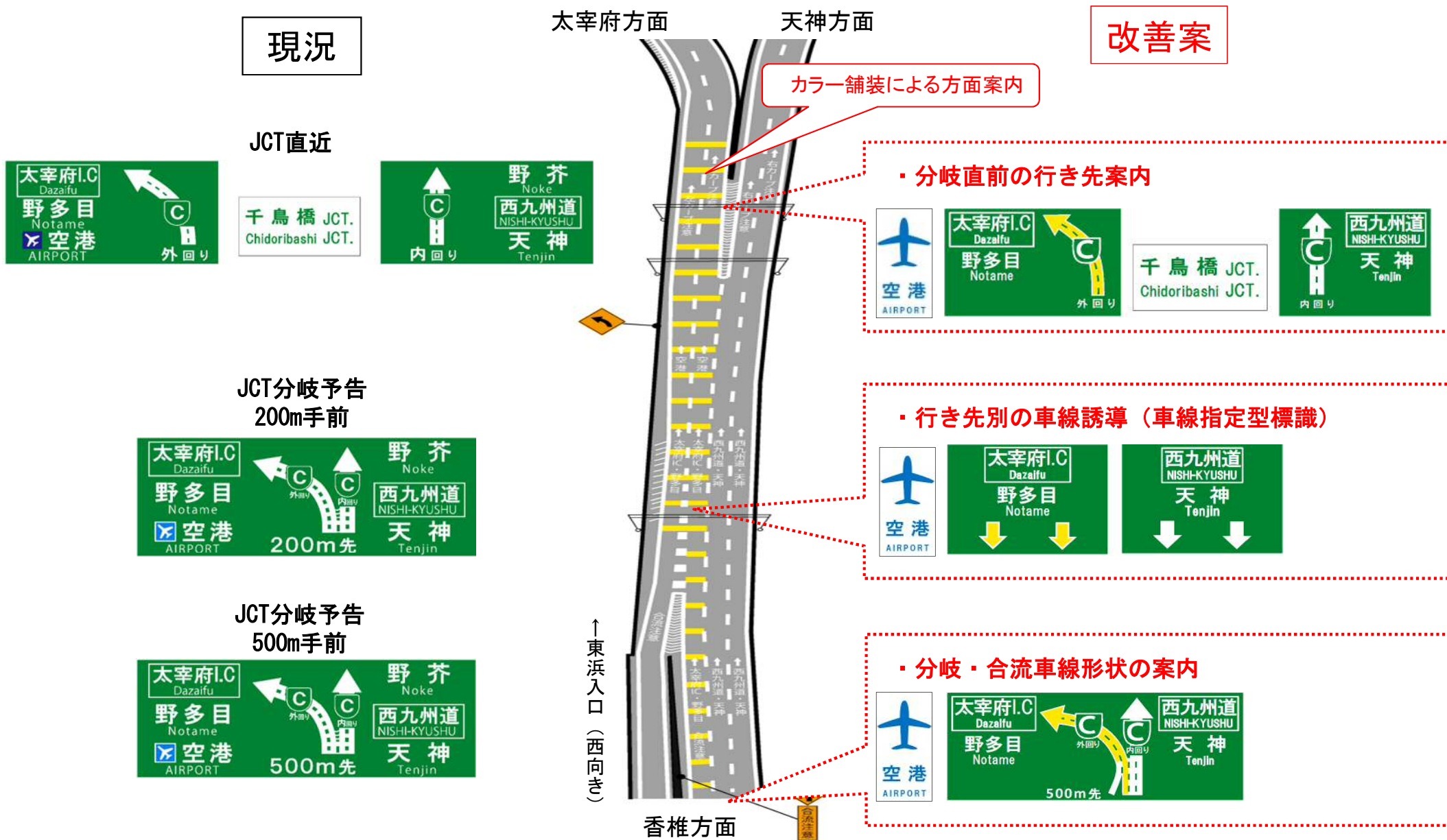
対策箇所名	路線名	場所の状況
① 東浜(箱崎→東浜)	1号香椎線下り	出口減速車線
② 千鳥橋JCT(東浜→JCT)	1号香椎線下り	織込 (ウィービング区間)
③ 千鳥橋JCT(築港→JCT)	環状線外回り	
④ 千鳥橋JCT(JCT→呉服町)	環状線外回り	
⑤ 千鳥橋JCT(呉服町→JCT)	環状線内回り	

対策箇所名	路線名	場所の状況
⑥ 呉服町出口	環状線外回り	平面取付部
⑦ 半道橋出口	環状線内回り	
⑧ 百道出口	環状線外回り	
⑨ 日明出口	2号線下り	合流区間
⑩ 紫川JCT(JCT→山路)	4号線下り	

(3) 今後の取組み(交通状況改善検討委員会での提案)

■検討例1 ②1号香椎線下り 千鳥橋JCT(東浜→JCT)【福岡高速】

◆ジャンクション部におけるわかりやすい情報提供



(3) 今後の取組み(交通状況改善検討委員会での提案)

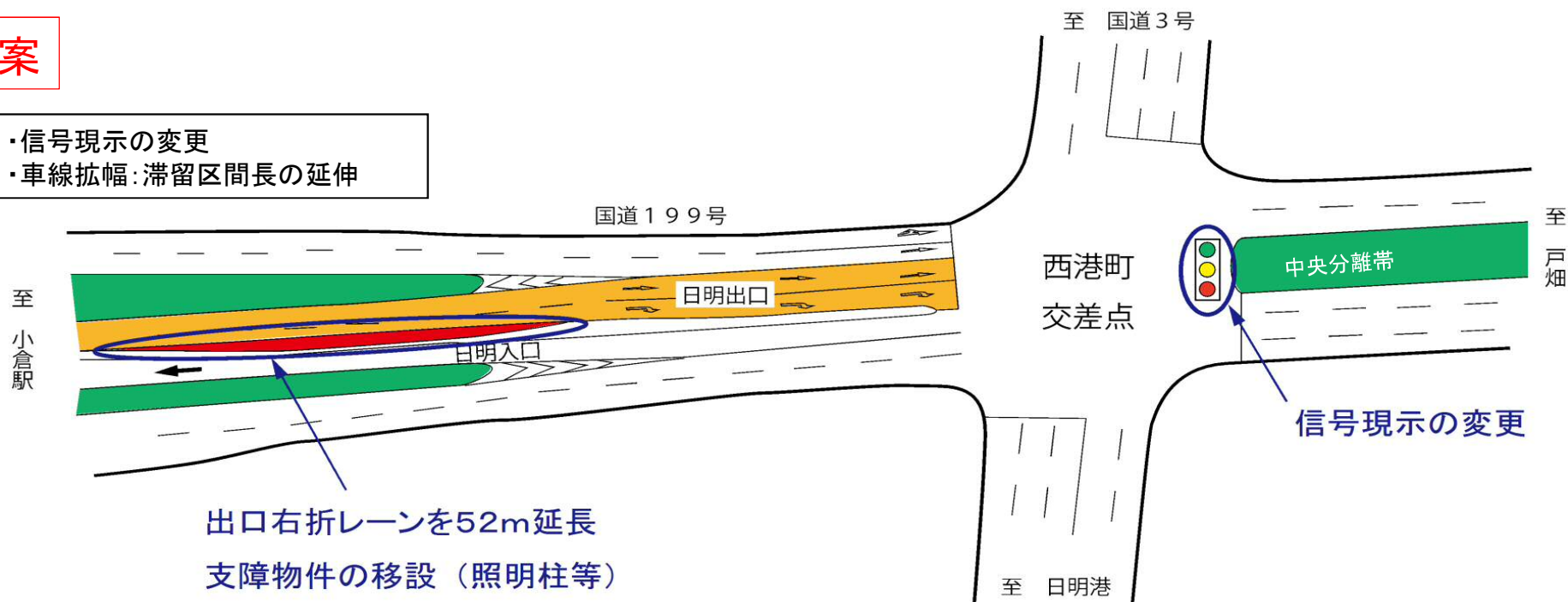
■ 検討例2 ⑨2号線下り 日明出口【北九州高速】

現況



改善案

- ・信号現示の変更
- ・車線拡幅: 滞留区間長の延伸



3 お客様サービスの推進

(1) 顧客満足度調査の実施

福岡都市高速及び北九州都市高速のご利用状況、都市高速に対するニーズや満足度を把握し、今後の計画やサービス改善等を効率的に行うため、顧客満足度調査を実施します。

- ・調査時期(予定) : 平成26年10月
- ・調査方法 : 料金所での調査用紙配布及びWEBアンケート
- ・調査対象数(予定) : 福岡1万、北九州7千
- ・調査項目 : 利用目的、走り易さ、情報提供の適切さ 他

(2) イラスト地図の常設箇所を増設



都市高速のイラスト地図(スイスイマップ)の常設箇所を増やし、必要とされているお客様のお手元により多く配布することで、ジャンクション部や入口及び出口における間違いを減らすなど、より便利で安全な都市高速を目指します。

○スイスイマップ常設箇所数

	(H26.4月現在)	(H26年度末目標)
福岡	全80か所	⇒100か所へ
北九州	全59か所	⇒ 90か所へ

<主な設置箇所>

- ・都市高速周辺の大型商業施設
 - ・関係庁舎
 - ・主要観光施設及び観光案内所
 - ・自動車販売店及び自動車関連商品販売店
 - ・レンタカー会社
 - ・自動車学校
- など

(大型商業施設の設置状況)

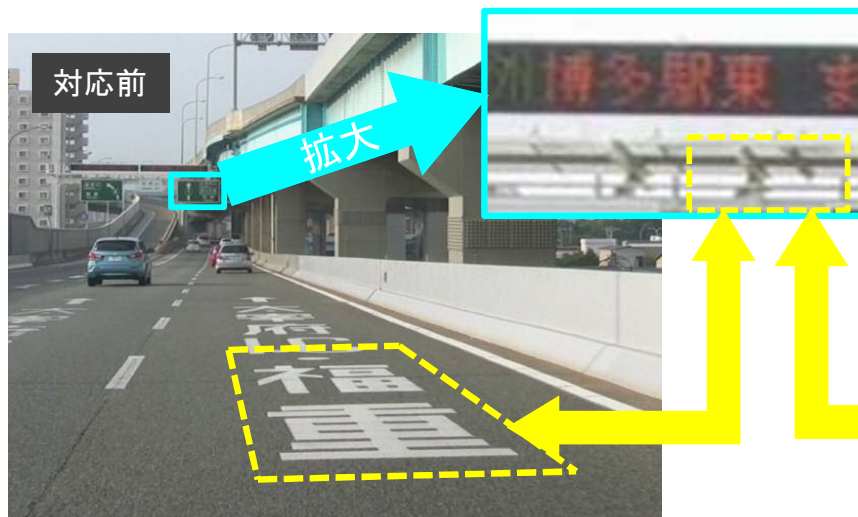
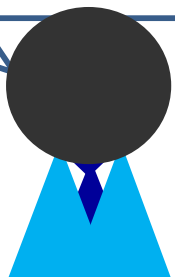
(3) お客様からのご意見等への対応

お客様から頂いたご意見を基に、より利用しやすい都市高速を目指して改善に取り組んでいます。

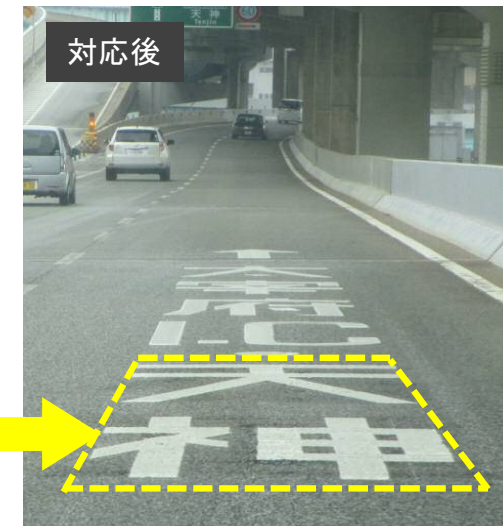
<H25年度改善事例>

<改善例1>

貝塚ジャンクション手前の標識と路面の行先表示が異なるため、戸惑ってしまう。表示を合わせてほしい。



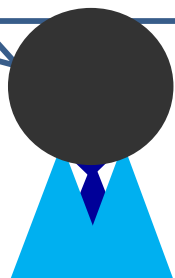
標識は「天神」、路面表示が「福重」で行先表示が合っていませんでした。



路面表示を「天神」に変え、標識と行先表示を合わせました。

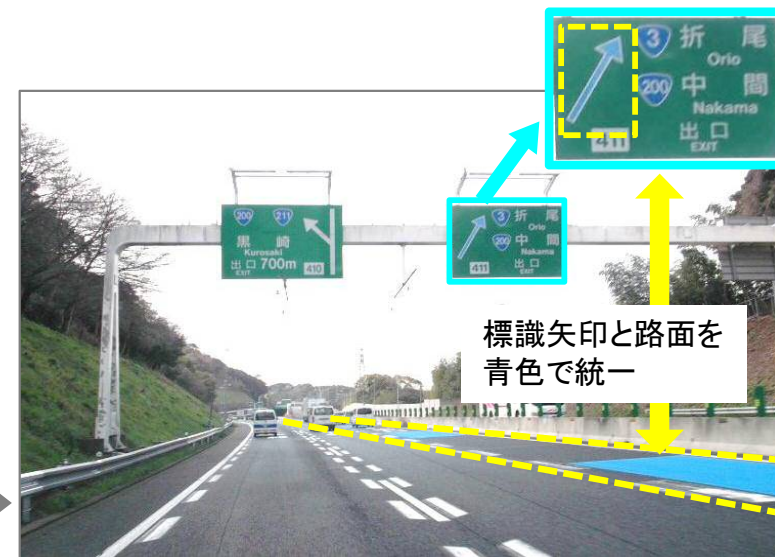
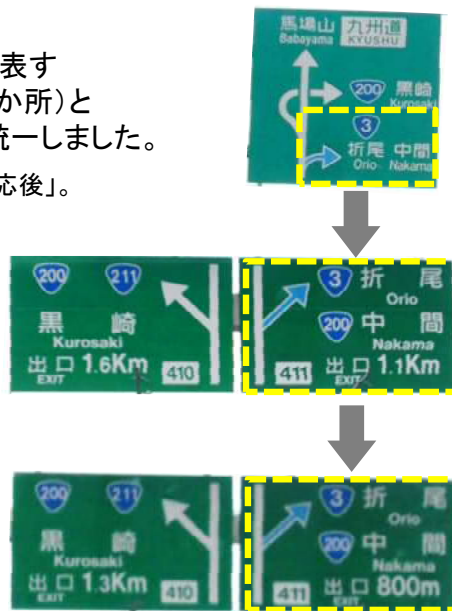
<改善例2>

折尾・中間方面へ行きたいのに、降り損ねた。出口を分かりやすくしてほしい。



折尾・中間方面を表す標識の矢印(全4か所)と路面の色を青で統一しました。

※写真は全て、「対応後」。



(1) 目的 アイランドシティ線は、福岡都市高速1号線とアイランドシティを結ぶ自動車専用道路であり、延長2.5 kmを新設することにより、東部地域全体の広域的な交通需要への対応を図ります。

(2) 位置図・概要



1. 都市計画
 - 1) 名称
福岡都市計画道路
自動車専用道路アイランドシティ線
 - 2) 都市計画決定日
平成25年7月9日
 - 3) 計画概要
 - ① 延長：2.5 km
 - ② 幅員：19m
 - ③ 車線数：4車線
2. 市道路線認定
 - ① 認定日：平成25年10月7日
 - ② 路線名：市道福岡高速6号線